



はぴねす

時津町立時津北小学校
学校だより R7第10号

令和7年10月31日
文責：校長 今井大輔

○ 一〇月二二日（水） 2年生

ご家庭に戻られてからも、ヨガを通じた親子の会話が弾んだことと思います。

コスマモスボーツさんを講師にお招きし、楽しく運動に取り組みました。主に子供たちの運動を中心でしたが、難しい動きに挑戦して「できた！」と喜ぶ、きらきらした表情をたくさん見ることができました。





例年、新一年生と転入生へは、北小PTAより、学習者用端末機のタッチペンをいただいています。今年度も、新しく入学・転入された児童の皆さんへ、一人一本ずついただきました。一年生も2学期から本格的に端末機を使用していますので、大切に活用させていただきます。誠にありがとうございます。

北小PTAからの贈り物

「ながさきファミリープログラム」を実施しました。これは、参加者同士が自由な雰囲気の中で語り合い、共感し、つながりながら学べる参加型学習プログラムです。心がほっこり温まるような、和やかで充実した遊びの場となりました。

○ 10月20日（月） 5年生

「ふれあいヨガ」
を実施しました。ヨ

「ながさきファミリープログラム」を実施しました。これは、参加者同士が自由な雰囲気の中で語り合い、共感し、つながりながら学べる参加型学習プログラムです。心がほっこり温まるような、和やかで充実した学びの場となりました。

だからこそ、今後、私が地域の行事に参加させてもらう際には、運営してくださいつている方々に対し、心からの感謝を込めて「楽ししかつたです」「ありがとうございました」と、積極的に声をかけるようになっていく。地域に息づく想いと、それを支える人々の労苦に、もう一人ひとり想いと地図をつむぐ。

トムテのおもちゃ箱さんにはご協力をいたしました。木製ブロック「カプラ」で遊びました。カプラを使つた遊びを通して、親子のコミュニケーションを深めるとともに、想像力を高める活動となりました。作品が崩れるかどうかの「ハラハラドキドキ」も交えながら、夢中になって楽しむ姿が見られました。

どの学年レクにもたくさん保護者に参加していただき、本当にありがとうございました。そして、企画運営をしていただいた役員の皆様にもお礼申し上げます。



秋はイベントや行楽のシーズン。長崎くんちは筆頭に、各地で祭りが催されていく。私も先日、初めて日並秋祭りに参加させてもらった。10月19日、子供会ごとの奉納みこしや蛇踊り、相撲だけではなく、地域の方々による出店もあって、会場はたいへんな賑わいだった。楽しい時間は過ぎ去ることができた。11月3日には、子々川くんたちも予定されており、浦安の舞や子供相撲など、今からとても

親子でふれ合う良い機会に・・・

○ 一〇月二三日(木) 4年生

川上文庫

学びあふれる宿泊学習

文責 教頭 橋本 薫

10月9日、10日、5年生は、諫早青少年自然の家で宿泊学習を行いました。「自ら考動×チームで協力=みんなが楽しい」というテーマどおり、充実した2日間となりました。



2日目のI-CAP（多様な体験活動を通して、集団や個人が成長するための教育プログラム）では、体ほぐしや、アイコンタクトで行う活動、協力してボールを運ぶ活動などを行いました。チームで行うことでの、友達の動きや表情を意識したり、一緒に喜んだりする姿が見られました。歓声から、どの班の関係性も良いことが伝わってきました。ウォークラリーでは、地図を頼りに約2時間、山の中を歩きました。順調な班も、そうではない班もありましたが、素晴らしいのは、どの班も、友達を気遣う言葉をかけたり、励まし合ったりしていたことです。大変気持ちのよい姿でした。



2日目の野外炊飯では、各学級の班編成を6班から5班に変更する必要に迫られました。（この事態は大変申し訳ありませんでした。）前日に班長会議で投げかけると、班長たちが、「だったら…」「じゃあ…」等、自分たちで話し合い、解決策を導きました。翌日、全員に経緯と班編成の結果を伝えると、誰もが穏やかに受け入れたことも天晴でした。一方、カレー作りでは、火おこしや、じゃがいも・ニンジンの皮むきに手こずりました。でも諦めず、子どもたちはやりとげました。自分たちで作ったカレーは最高です。



この他にも、友達との食事、入浴、星空（月や土星）観測、朝の集い等、多くの思い出ができました。「楽しかった。」と五年生は言いました。「見通しをもって、これから学校生活に生かしたい。」とも言っていました。5年生の今後の活躍が楽しみです。

5年生の本山花さんは「My brother's instrument」、6年生の内山櫻さんは「B for Basketball」、そして今田陽香理さんは「Go for the Black Belt」と、それぞれ個性あふれるテーマで堂々とスピーチを披露しました。北小からは、3名の児童が出場しました。3名とも、とても流ちょうな発音で、身振り手振りのジェスチャーまで交え、練習の成果を存分に發揮することができます。聞いている人の心を引く、それぞれの趣味や個性が光る素晴らしい発表でした。

なお、3名はコンテストに先立ち、27日の朝の時間には全校児童の前でもりハーサルとして発表を行い、み

2回読書感想発表ビブリオバトル大会の児童が代表として出場しました。2年生の平瀬美琴さんは、「トットちゃんの本からまなんだと」（「トットちゃんの15つぶのだいす」）、そして6年生の平野明守さんは、「わからぬ怖くない？」（「博士の愛した数式」）という題名で、大勢の聴衆の前で発表することができました。



10月25日（土）、時津町公民館にて行われた第2回読書感想発表ビブリオバトル大会に、本校から2名の児童が代表として出場しました。

第42回読書感想発表大会

